

先生各位

検査内容変更のご案内〔第二報〕

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 平成 21 年 4 月 1 日(水)受付分より

《変更内容》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.6	0428	尿酸(UA)	基準値	男：3.6～7.0 女：2.3～7.0 mg/dL	7.0 mg/dL 以下
-	-	酵素活性検査項目 (別紙 1 をご参照ください)	単位	U/L	IU/L/37

その他の検査内容に変更はございません。

《変更理由》

尿酸の基準値 : 下限値設定による低尿酸血症の判別のため
(設定根拠につきましては、別紙 2 をご参照ください)
酵素活性検査項目の単位 : 単位表記見直しのため(測定値への影響はございません)

別紙 1 : 単位の変更がある酵素活性検査項目の一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称
P.2	0067	A S T (G O T)
	0069	m-G O T (ミトコンドリア-G O T)
	0071	A L T (G P T)
	0079	-G T (-G T P)
	0073	A L P (アルカリフォスファターゼ)
P.3	0075	L D (L D H、乳酸脱水素酵素)
	0077	L A P (ロイシンアミノペプチダーゼ)
	0081	コリンエステラーゼ (C h E)
	0087	アミラーゼ (A M Y) 血清
	0089	アミラーゼ (A M Y) 尿
	0217	P型アミラーゼ
P.4	0146	アルドラーゼ
	0143	C K (C P K、クレアチンキナーゼ)
	0144	C K-M B (C P K-M B) [免疫阻害法]
	0148	A C P (酸性フォスファターゼ)
	0150	P A P (前立腺酸性フォスファターゼ) [2-クロル-4-ニトロフェニルリン酸基質法]
P.5	0172	グアナーゼ

なお上記の項目について、同じ検査方法・報告単位を用いた項目（材料違いなど）も単位の変更の対象になります。

別紙 2 : 尿酸 (UA) 基準値下限の設定について

【変更理由】 下限値設定による低尿酸血症の判別のため。

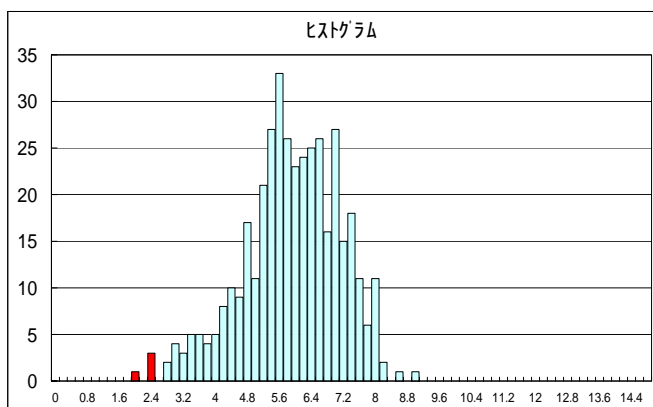
【基準値】 変更後：男 3.6 ~ 7.0 mg / dL
女 2.3 ~ 7.0 mg / dL

変更前：男女とも 7.0 mg / dL 以下

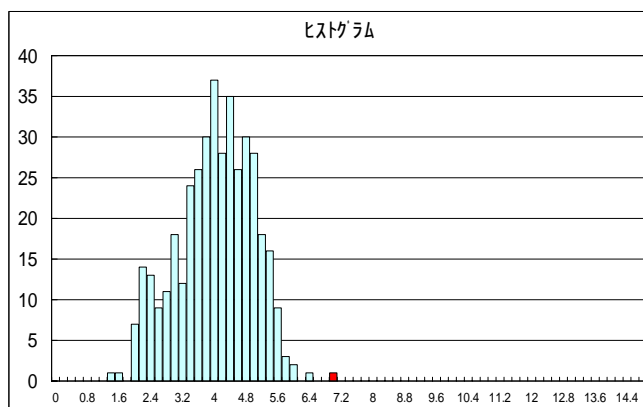
【設定根拠】 文献引用：堀田 多恵子
臨床化学 第 34 巻補冊 1 号：110-111 , 2005

【弊社検証データ】

(男性)



(女性)



横軸：尿酸 (UA) 値 (単位 : mg / dL)、縦軸：度数

下限	平均
M - 1.96SD	M
3.6	6.0

下限	平均
M - 1.96SD	M
2.3	4.1